

第 6 回
市民と市長のタウンミーティング
報 告 書

○期 日 平 成 18 年 8 月 6 日

○会 場 武蔵野中央公園北ホール

武 蔵 野 市

まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」、「双方向」で地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。この会は、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が会の企画・運営方法について協議し、協働して開催するもので、原則として議会月（3月、6月、9月、12月）を除く年8回開催し、2年間で市内のコミュニティセンターを一巡する予定です。

このたび、武蔵野中央公園北ホールで第6回「市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告します。

概 要

1. 日 時 平成18年8月6日(日)
午後1時30分～4時10分
2. 場 所 武蔵野中央公園北ホール
3. 主 催 武蔵野市・八幡町コミュニティ協議会
4. 参加者数 88人
5. 主催側出席者 市長 邑上守正
八幡町コミュニティ協議会委員長 渡邊卓治
企画政策室長 南條和行
環境生活部長 長澤博暁
都市整備部長 井上良一
防災課長 大野正雄
6. 司 会 八幡町コミュニティ協議会書記 佐藤僖子
企画政策室市民活動センター所長 笹井 肇
7. 内 容
第1部 「八幡町のまちづくり」をテーマとした意見交換を行った。
第2部 参加者にカードを配り、市政全般に関する意見等を記入していただいた。
そのカードを、第四期長期計画の施策の体系の分野(①健康・福祉、②子ども・教育、③緑・環境・市民生活、④都市基盤、⑤行・財政)に分類して模造紙に貼り出し、分野ごとに意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)第1部「八幡町のまちづくり」をテーマとした意見交換(要旨)	3
・ 公共施設を巡るムーバス路線の増設を.....	3
・ 都立中央公園の北側に通り抜けができる出入り口を.....	3
・ 遊歩道の整備、町の案内板の改善を.....	5
・ だれにでもやさしい安全なまちを.....	5
・ 新しいコミセン建設の早期実現.....	7
(3)第2部 市政全般についての意見交換(要旨).....	9
①健康・福祉.....	9
・ 市長の発言.....	9
・ 視覚障害者に対する書類作成の補助について.....	9
・ 在宅介護の支援について.....	10
・ エナジートロンの設置について.....	10
②子ども・教育.....	11
・ 市長の発言.....	11
③緑・環境・市民生活.....	12
・ 市長の発言.....	12
・ 武蔵野市の鳥について.....	13
・ タウンミーティングでごみを出さない工夫・緑化に対する助成 について.....	13
④都市基盤.....	14
・ 市長の発言.....	14
・ エコマネーについて.....	15
⑤行・財政.....	15
・ 市長の発言.....	15
・ 生垣の管理・カラス対策について.....	16
・ 職員の意識改革について.....	17
(4)閉会のあいさつ.....	17

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針.....	19
①健康・福祉.....	19
②子ども・教育.....	20
③緑・環境・市民生活.....	22
④都市基盤.....	27
⑤行・財政.....	30

— 付属資料 —

第6回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1)開会のあいさつ

【市長】

皆さんこんにちは。本日は非常に暑い日になりました。また休日にもかかわらず、多くの皆さんにご参加いただきまして誠にありがとうございます。

昨年10月に市長に就任し、10ヶ月がたちました。市民の皆さんと一緒に市政を進めるにあたり、市民の皆さんといろいろな場で意見交換をしたいという思いがございまして、このタウンミーティングを開催しています。今年1月からスタートして、今回で6回目になります。原則として、議会がない月に月1回開催するというので、年に8回、2年間で16回開催いたしますので、16のコミュニティ協議会を2年間で巡回できます。それ以外に、「こういう課題について意見交換したい」ということをご提案いただけましたら、ぜひ皆さんとテーマ別のタウンミーティングを行っていきたいと思っております。

このタウンミーティングは、地元のコミュニティ協議会と一緒に進めております。この会の開催にあたって、八幡町コミュニティ協議会の皆様には、ずいぶん前からご協力をいただいております。今日の会の運営についても、協議会の方にお手伝いいただきながら進めてまいります。



さて、この会は2時間半の予定です。お集まりの方から直接意見を伺うには、非常に短い時間で申し訳ございませんが、ご提案やご意見をお持ちの方には、このカードに書いて貼っていただければと思います。また、残念ながら、いただいたご意見に対して、今日この場で全て回答を申し上げるのは難しいのですが、ご意見は全て市で整理し、市の考え方を記載した報告書としてまとめます。対応方針が不十分な点もございますが、まとめたものを皆さんにお返ししてまいります。これを一つのきっかけとして、今後、皆さんと一緒に、地域のために、また市のために良いまちづくりを進める上で、皆さんにもこの報告書を見ながら進捗状況を確認していただき、意見のキャッチボールをしていきたいと思っております。報告書を作成する際には、いただいたご意見を市役所の全ての課に流しますので、今日参加していない職員も、ご意見を読んでおります。この地域の方はこんなことを考えている、こんな意見があるということを知ることが、市にとって大いにプラスになっているのではないかと思います。私は、この報告書を「宝物」だと思っております。ようやく今、4冊目の報告書を作ることができました。作成には2ヶ月程度かかるため、この会の報告書発行は秋になるかもしれませんが、皆様にもぜひ楽しみにしていただければと思います。

これから短い時間ではございますが、いろいろなご意見をたくさんいただきたいと思っ

ております。本日はご参加いただきましてありがとうございます。

【八幡町コミュニティ協議会委員長】

皆様こんにちは。八幡町コミュニティ協議会の委員長の渡邊と申します。今日は真夏日で、しかも日曜日にもかかわらず、多くの皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。



この会は、今お話がありましたとおり、市と共催ということで、市政の主役である市民の皆さんと市長とで、ともに八幡町のまちづくりの夢を語りましょうと呼びかけてまいりました。

八幡町は1丁目から4丁目までで成り立っております。そのうち2丁目については、10万㎡のはらっぱ公園が大半を占めております。また4丁目は、見事な整然とした町並みでできております。八幡町は、グリーンパーク遊歩道や千川上水、旧中島飛行機跡地等、戦後60年のまちづくりの歴史を秘めております。

本日、八幡町のまちづくりに関しては、地域の皆様や、運営委員会と協議した結果、5つの課題をあげさせていただきましたので、この順に従って意見交換をしてまいりたいと思っております。これまで八幡町では、60年近いまちづくりにおいて、地域住民が積極的に参加してきたという伝統を持っております。今日、皆様には、伝統を引き継ぎながら、限られた時間を有効に活用していただきたいということをお願い申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いたします。

(2) 第1部「八幡町のまちづくり」をテーマとした意見交換(要旨)

1. 公共施設を巡るムーバス路線の増設を

【ご意見】

ムーバスは11年前にスタートし、現在、5路線まで拡大され、1日6,000人以上の利用があり、非常に発展しているが、八幡町には路線がないので、ぜひ八幡町にも路線の延長をお願いしたい。市役所及びその周りの公共施設、体育施設等へのアクセスの改善という考え方で、路線を延長してもらえたらと思っている。

【ご意見】

先日の市報で、「ムーバスは、まち全体の回遊性を高めるという点で大きな貢献をしている」との記載があった。同じような考え方で、市内に16箇所あるコミセンを結ぶようなムーバスの路線を開通できないか。

【ご意見】

私は桜堤に住んでいるが、境や桜堤、境南町といった市の西部地区から見ると、八幡町はとてもしんどい、遠いところという印象を受ける。市民同士の自由な交流が持てるように、西部地区と、八幡町のような北部地区とを結ぶような路線を作ってほしい。

【市長】

ムーバスは、開設以来11年目になります。高齢者など交通弱者の方の移動にご利用いただくということで始まった事業であり、バス停から300m以上離れている交通空白地域や、バス停から300m以内でもバス運行本数が1日100本以下という交通不便地域を中心に、市内JR3駅を起点としたルートを設定してきました。市内にはまだ交通空白地域があるため、これを解消するのが現在の優先課題です。

これまでのタウンミーティングでも、各コミセンの皆様から、市内の公共施設を巡るコミュニティバスはどうかといったご提案をいただいておりますが、基本的には、路線バスがあるところはなるべくそれを使っていただいております。また、健康な方にはぜひ、歩いたり、自転車を利用したりしていただければと思っております。

これからの新たなムーバスの展開を図る際の視点についてご提案をいただきましたが、1つは市民同士の交流を深めるための利用ということで、これも大いに必要だと思います。コミセンは地域単位で運営しているので、それぞれの相互利用はそれほどないかもしれませんが、そういうルートがあれば、新たな交流が生まれるかもしれませんね。公共施設を巡るコミュニティバスに関しては、他市で運行しているところの話では、利用者数の点から、運営がかなり厳しいという話を聞いております。

市としましては、交通空白地域の解消を優先的に進めておりますが、今後1～2年間で一定の解決ができると思いますので、その後の新たなムーバスのあり方については、また皆さんと検討できたらと考えております。

2. 都立中央公園の北側に通り抜けができる出入り口を

【ご意見】

この武蔵野中央公園北ホールを利用するにあたり、南側に中央公園があるが、公園の西側と北側は他の建物等で閉鎖されており、災害発生時にもここからすぐには中央公園へ行けない。また、八幡町1丁目の方面から北ホールを利用するにも、遠回りをしなければならない。公園の西側もしくは北側に通り抜けの入り口を作ってほしい。

【ご意見】

我が家では犬を飼っている。中央公園では、犬を放さないでくださいとのアナウンスを耳にするが、飼い主としては犬を自由に遊ばせたいので、中央公園にドッグランを設置してほしい。

【ご意見】

先ほど、中央公園の北側に門を作ってほしいというご意見があったが、北側には、この北ホールを所有している富士重工業の社宅がある。子どもを持つ親にとって、社宅内は、お住まいの方たちの目もあり、不審者も出入りしないため、安心して子ども達を遊ばせられる場所である。常時出入りできるような公園との通路ができたとしたら、全く関係ない人も出入りする可能性があり、いかがなものかと思う。しかし、非常時には便利だと思うので、常時開いている門を作るのではなく、災害発生時など特別な場合に開くような門を設置するという方向で考えていただきたい。

【市長】

都立武蔵野中央公園に関するご意見をいただきました。中央公園は10ヘクタールという莫大な面積で、武蔵野市の中で一番大きなオープンスペースです。かつ、ここは広域の避難広場になっており、あらゆるところから避難しやすいような工夫も必要なことですね。公園の西側や北側については大きい施設があるために、なかなかアプローチしづらい、北側の方が公園に行くには、西側の門まで回って入るということで、距離的にはかなりあるのかなと思います。

しかし、この地域の周辺には、武蔵野大学や田無工業高校のオープンスペースや、千川上水という緑地もあり、防災の点から見ても、武蔵野市の中では比較的 안전한地域です。八幡町4丁目のあたりは非常に立て込んでいますが、八幡町を総じて見ると、武蔵野市内では比較的恵まれた地域だと思っております。北側から中央公園に抜けるルートに関しては、どの程度利用される方がいるか、もう少し検討が必要だと思います。また、常時開放するといったしますと、たしかにいろいろな人が出入りするという点で不安がございます。一方で、防災の観点からは、いくつかの方向から広域避難広場へのアプローチを確保することが必要です。さらに、このルートを設置するためには、武蔵野北高校という都立高校の敷地、あるいはN T Tや富士重工業社宅等、民間の敷地をお借りすることになるため、その点に関する課題もございます。需要や安全面について、もう少し議論する必要があると思います。



また、最近ではペットブームということもあり、犬を放し飼いにして遊ばせたいという声もたくさんあります。ただ、都民のための公園という前提の中、犬が苦手という方もいらっしゃるから、すぐにドッグランを設置した方がいいとは、なかなか申し上げにくい面がございます。「市長への手紙」でも、「犬の放し飼いで非常に怖い思いをした」という声を多数いただいております

ので、設置については大いに議論が必要だと思えます。最近、大規模な都立公園ではドッグランが設置されてきております。小金井公園にもドッグランがありますが、小金井公園は中央公園の何倍もの面積があります。また、都内の臨海部の大きな都立公園にもドッグランが設けてあるとのことで、東京都としても、一定規模以上の公園に設置をしているとは思いますが、中央公園への設置については、面積の点から可能かどうか、東京都にも検討をお願いしなければならないと考えております。

3. 遊歩道の整備、町の案内板の改善を

【ご意見】

この地域は、バスを降りても、交番に行っても、町の様子があまりわからない。バス停など主要なところに、案内板のようなものを掲示してほしい。

【ご意見】

千川上水の遊歩道を時々散策するが、車道側の柵のあるところはきれいだが、川の方に降りようとすると、枯れ枝や木の根などがあるため、お年寄りや子どもにとっては足元が危険な状態である。誰もが安心して歩けるよう、もう少し整備してもらいたい。

また、千川上水に、武蔵野市の設置した看板がところどころに立っているが、はげかかっている見苦しいので、改善してもらいたい。

【市長】

私も、町を案内する標識があまり充実していないと感じています。かつ、各施設ごとに独自に案内を出すことが多く、表示が統一されていないということもございます。ですので、公共サイン計画と申しますか、武蔵野市版の公共案内計画を作っていく必要があると考えております。景観をきれいにする中で、公共サインに関するルールの整理も検討してまいりたいと存じます。

千川上水は、今までは東京都が管理していましたが、この4月から武蔵野市に委譲され、整備の方法については、大いに皆さんと相談しながら進めることができるようになりました。先日、千川小学校の前あたりについては遊歩道を整備しましたが、あのような形で、もう少し水辺をきれいにしていきたいと考えております。魅力的な遊歩道を整備したいと思います。市役所だけではなかなか管理が難しいため、管理の方法についても、地域の方々にどうやって応援いただけるかも含めてご相談したいと考えておりますので、どうぞご協力ください。また、看板についても、市でもう1度確認し、必要な改善策をとってまいります。

4. だれにでもやさしい安全なまちを

【ご意見】

私には小学生の子どもが3人いるが、我が家の子どもたちは、よくグリーンパーク遊歩道で遊んでいる。子ども達は、ちょっと怪しげなところで遊ぶのが好きなようだが、親としては、もう少し照明を増やしたり、生い茂っている草を定期的に刈ったりして、見通しの良い、安全に遊べる場所にしていきたい。

また、千川小学校の前の道路は、歩道が両側にあり、子ども達の歩くスペースは確保されているが、朝の通学時間帯に、車や自転車がすごい勢いで通るので、通学路であることを示すような

立て看板があったらありがたいと思う。

また、八幡町の交番には、お巡りさんがいるのを見たことがない。朝夕、子ども達が行きかう時間帯だけでも、必ずどなたかがいる交番にしていただけたらと思う。

【ご意見】

八幡町コミセンで月に1度パトロールをやっているが、千川小学校に隣接したマンションの辺りや、八幡町バス停から公園入り口までの辺りは、木があって暗いため、街灯を設置していただきたいと思う。

八幡町交番に関しては、先日、中央公園に集まっている人たちの様子が危なかったもので、交番へ行ったところ、お巡りさんがいなかった。お巡りさんの手が足りないのであれば、警察 OB の方たちなどに、夜だけでも交番にいてほしい。

東伏見側の通りは、アイドリングストップの看板がいくつかあるが、八幡町側の通りには1つもないのは、どういう理由なのか教えてほしい。

【ご意見】

千川あそべえ(*1)は地下のトレーニングルームを使用しているが、大変暗く、冬は非常に寒い。また梅雨時は湿度が非常に高く、階段や廊下の結露がひどいため、すぐにカビが発生する。子ども達やスタッフの健康が気になるが、何か対策をとれないか。

【ご意見】

八幡町コミセンのすぐ南側に「老人いこいの広場」という公園があるが、この公園の地面は、レンガを格子状に組んであるため、お年寄りが非常につまずきやすい。お年寄りが安心して歩ける地面にしてほしい。

【市長】

安全なまちづくりに関して、いくつかご指摘をいただきました。まず、公園等の整備ですが、木が密植すると見通しが悪くなり、危ない空間となってしまいます。市としても、なるべく外からも見えやすいように公園を整備しておりますので、危ないと思われる点をお知らせいただければ、いろいろな工夫をしてみたいと思います。子どもは、なるべく目立たないところに秘密基地などを作りたいと思うのですが、親にしてみると、心配なこともあるかと思います。そのあたりのバランスも考えながら、公園や緑の整備を進めてまいります。

暴走自転車は、あちこちで問題となっておりますので、自転車の乗り方に関し、武蔵野市版のルールや制度ができないか検討してまいります。通学路で危険なところについては、ご指摘いただければ、担当の方で、通学路のサイン設置について検討してまいります。

それから、交番の話をしていただきました。現在、交番の統廃合の動きがあり、八幡町の交番は存続するというのですが、西久保や吉祥寺本町4丁目の交番を統廃合しようという方針が出されております。交番があること自体が安心感を生むという面もありますので、市としては、存続に関する要望書を警察署に出し、交番の形を残す方向でご検討いただいております。今までのようにお巡りさんが常駐するのが難しいとのことですが、OBの方々、警察相談員といった方々の駐

(*1) あそべえ…小学校施設等を利用した、子どもたちが自由に集い、遊び、交流できる安全な居場所、自由来所型の遊び場。市立小学校12校で、教室開放、校庭開放、図書室開放を実施している。

在も含め、新たな方法を検討してもらえないのではないかと考えております。

また、要望しました際に、単に交番の存続だけでなく、パトロールの充実もあわせてお願いしております。空き交番についても、なるべく相談員等の人的配置をしていただく、あるいは電話をとればモニター画面に本署の方が映るとか、安心を生むような交番のあり方を工夫してくださいということを投げかけております。地域の皆様には、引き続き、交番の存続について声を上げていただきたい。同時に、「あそこの交番はとても役立っていますよ」という声も警察に届くと、警察も充実の方向に動いてくれるのではないかと考えております。

それから、街灯に関するご提案をいただきました。市としましても、危険な暗がりのところには積極的に街灯を設置していく方針ですので、もし具体的な場所があれば、市にご一報ください。市では現在、市内全体の街灯を明るくするという事業を進めております。八幡町に関しては、今年実施の予定ですので、どうぞご期待ください。

アイドリングストップに関してですが、確かに伏見通りには、トラックが止まって時間待ちをしているケースがあります。基本的には認められないことですので、警察にもいろいろな規制をお願いしておりますが、標識が効果的であれば、少し警察にも相談してみたいと思います。

千川あそべえについてですが、武蔵野市の学校では、周辺の日照の問題もあり、これまで地下を多く利用してまいりました。とは言っても、地下はあまり快適な環境ではないので、ほかに使いやすい施設があれば移転ということも考えられますが、今あるところを使わざるをえない場合においては、市としても何らかの方法を考えていきたいと思っております。

「老人いこいの広場」については、私は床面の舗装を見ておりませんが、そのようなご要望があったということで、担当の緑化環境センターにも現場の確認をするよう指示し、検討してまいります。



5. 新しいコミセン建設の早期実現

【ご意見】

八幡町コミュニティセンターの移転・新築に関しては、議会で承認されたことでもあるので、行政側も早急に取り組んでいただきたい。他のコミセンでは、ロビーがあったり、バリアフリーであったりと、八幡町コミセンとの差を感じている。今のままの八幡町コミセンでは、コミュニティづくりの拠点としての役割を十分に果たすことができない。行政は、他のコミセンのモデルとなり得るようなコミセンの新築に向けて、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。

【ご意見】

八幡町コミセンの移転先について、千川小学校のプール跡地が計画予定地と聞いているが、その場所は西端であり、八幡町の中心部からは非常に離れている。もう少し、お年寄りや若い人達もたくさん来られるような場所を考えていただきたい。

【ご意見】

私には子どもがいるが、残念ながらコミセンでの活動状況がよくわからない。子どもがコミセンを利用することが少ないために、そこに関わろうとする親も少ないという状態があると思うので、建替えの際には、ぜひ子ども達も利用できるようなスペースを持ったコミセンにしていきたい。今、八幡町近辺には、新しい住宅も建っており、千川小学校の児童数も増えてきている。他市では児童館が各所にあるという話を聞くが、武蔵野市の場合、児童館は桜堤1ヶ所だけであり、自分の住んでいる地域に子どもたちが遊べる場所がもっとあったらいいと思う。

【ご意見】

私は以前に、コミセン作りの企画の基礎となる社会意識調査に参加しており、コミセンができた際には利用もさせていただいた。それからかなりの時がたったが、今の状況は、その頃と比較してあまり進んでいないという印象を受ける。今、市民の意識もニーズも多様化しており、コミセンを、市民が自主的に活動する場としたいが、コミセン側も、市民の活動のニーズに応えられるように成長してほしいし、市民に対しても、コミセンの成長にむけて活発に意見を言いたいと申し上げたい。

【市長】

武蔵野市のコミュニティ構想は、30年あまりの年月の蓄積がございます。この間、いろいろな社会的変化もありますので、新たな視点を持って、いま一度コミュニティ構想を見直す必要もあるかと思っております。コミセンは、コミュニティ構想に基づく地域のコミュニティづくりの拠点ですから、場所やスペース、運営方法などをもう一度考える時期に来ているのかと思います。単に施設が広ければいいということではなく、いい場所を作っていきたいし、それを支える皆様の取り組み方についても、大きな課題ではないかと思っております。

八幡町コミセンに関しても、地域の方がフリーに楽しめるスペース、個々人が集えるような場という点からは、やや課題が大きいと感じております。また、他のコミセン、例えば本町や緑町、中央コミセンでも、エレベーターがないなど不都合な点もございます。これから長期計画を見直し、調整計画を策定してまいります。その中で、コミセンの改築・更新についても議論してまいります。大きな改築に関しては、どういう視点で優先順位を作っていくのかといったことを議論してまいりたいと思っております。

現在の長期計画の中では、計画期間の後期、2010年度以降にコミセンの改築・見直しをするという位置づけしかありません。今回の調整計画の中で、コミセンの機能更新を含めたりリニューアルについて、前倒しでやるのかという議論をいただき、コミセンのあり方についてもきちんとした方針の位置づけをしたいと考えております。

八幡町コミセンの今後については、場所は全く決まっておられません。ただ、新たな用地を買うことはなかなか難しいので、一つの方向性として、市が現在所有している土地や公共施設を、いろいろな形で利用していくということが考えられます。八幡町コミセンについても、建て替えるということが決定いたしましたら、機能や規模が確保できるようなスペースについて、皆様と議論してまいりたいと思っております。子どもの居場所や遊び場をこの施設にどう組み込むか、サロンのようなスペースはどの程度必要なのか、利用や運営の方法をどうするか等について、議論の場が必要だと思っております。

(3) 第2部 市政全般についての意見交換(要旨)

1. 健康・福祉

【市長】

福祉問題については、どの地域においてもいろいろな課題を提案されております。まず、**障害者福祉**に関し、視覚障害者の書類作成の補助という点でご指摘をいただいております。職員には、市役所に来られたお客様に丁寧に対応するように指導しておりますが、不都合な点がありましたらお詫びします。



高齢者福祉については、今回の税制改正が高齢者の方にとっては負担になっていることを、私も非常に感じております。国の制度改正も過渡期ですので、皆様に制度を理解していただけるように、まずきちんと制度の内容を丁寧に説明してまいりたいと思います。

介護保険の問題についても、介護保険料がアップしたということもございまして、皆様にご負担をかけていると思いますが、武蔵野市としては、これからの方向性として「福祉の武蔵野」の言葉に恥じないように、中身について充実してまいりたいと考えております。利用料の7%補助については廃止いたしました。一定の範囲の中で所得の低い方に対しては補助するという形をとっております。基本的には現金給付型の福祉についてはなるべく見直し、サービスの中身を充実させる方向で考えていきます。また、そのことについても、説明がなかなか皆様に伝わっていないところもあるので、より丁寧に説明しご理解いただきたいと考えております。

ただし、そこでもいろいろな意見が出てくると思いますので、そういう課題については、市に言ってください。例えば本日も、「市民が自由に実習できる介護センターの常設」などの提案をいただいております。これらについても、皆様との対話を通じながら、どのような福祉が必要なのかについて考えていきたいと思っております。

地域福祉については、ひとり暮らしの高齢者の安全、介護の手助けや、災害時に高齢者世帯の避難を助け合う仕組みづくりというご要望が出ています。市としては、まだそのような仕組みの確立に至っておりませんが、地域社協等を中心とした地域の見守り体制などを構築していきたいと考えております。また、防災という面からもネットワークの形成を進めていきますので、防災と地域社協という形でネットワークを構築してまいりたいと思っております。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については19ページをご覧ください。)

1. 視覚障害者に対する書類作成の補助について

【発言意見】

私は視覚障害者だが、以前、年金の現況届の代筆を依頼しに市役所に行った際、年金の

担当課と障害者福祉の担当課とでたらいまわしにされた。視覚障害者が役所へ提出する書類の代筆に関しては、積極的に引き受けてくれる職員とそうでない職員とがいるが、視覚障害者は、書類に文字を書いたりするのは難しいので、文書通達などで補助すべき内容などを統一しておいて欲しい。

【市長】

今後、来庁された方に不都合のないよう、窓口の対応について再度工夫していきたいと思っております。

2. 在宅介護の支援について

【発言意見】

先ほど、ムーバスの路線増設について、市民の交流促進という点から発言したが、市民交流とは、単に娯楽のためという意味でなく、介護のために通わなくてはならないという事情の時もある。在宅介護の支援に関しては、移動手段のことについても視野に入れてほしい。

【市長】

当然、いろいろな面で福祉を進めていく上で、移動ということが大きな問題となっております。現状でも、レモンキャブ（*2）やタクシー券などを多くの皆様にご利用いただいております。

3. エナジートロン(高圧電位治療器)の設置について

【発言意見】

私は、昨年5月からエナジートロン治療を行っているが、高血圧や難聴、水虫などに効果があったので、ぜひ市長や議員、コミュニティ協議会委員長などに視察していただいて、公共施設への設置を検討していただきたい。

【市長】

エナジートロンを利用して効果があるとのことでしたが、例えばコミセンへの設置に関し、コミセンの皆様で合意されるのであれば、そういう声も届けていただきたいと思います。ただし、エナジートロンは、薬事法で「主として医師の指導によって使用される家庭用の電気治療器」と、原則として医師の指導の下で使用することが定められておりますので、市としては、公共施設で治療器による治療行為を行うことが適切かどうか、医師の指導にない使用を認められるか、コミセンにおける安全管理対策等をどうするか、などを勘案すると、現在のところ公共施設での設置は考えておりません。

（*2）レモンキャブ…バスやタクシーなどの公共交通機関の利用が困難な高齢者や障害者の外出を支援するための移送サービス事業。福祉公社に登録された地域の運行協力員が福祉型軽自動車を運転し、ドア・ツー・ドアのサービスを提供。

2. 子ども・教育

【市長】

子育て支援については、いろいろな手当や医療費補助に関して、現状では所得や年齢の制限があるので、さらに拡充して欲しいとの意見をいただいております。今後も、このようなご要望を踏まえて子育て支援策を検討してまいります。ただし、先ほど冒頭で申しましたとおり、福祉的な施策については、現金給付よりもサービスの提供を重視していく方向で考えてまいりたいと思います。

保育園の冷房については、多くの意見が寄せられています。私も子育てをしてきた経験からいうと、猛暑の頃、子どもを引き取りに行く時には、建物の中も暑いと感じておりました。建物も暑いが子どもの体温も高いのでより暑くなってくるという環境です。これまで、保育園の「涼」環境の創出という形で建物自体が暑くならないように様々な工夫をしてきましたが、効果の大きなものと小さなものがあります。建物自体を涼しい建物に変えていくというのは1つの姿勢として必要と考えていますが、かといってクーラーがないというのも酷なことと理解しております。今タウンミーティングを行っているこの部屋もクーラーがなければ皆さんと一緒に集会も開けませんので、その必要性については議論してまいりたいと思います。

学童クラブについては「児童の安全の観点から、学校休業日の学童クラブの開所時間をせめて朝8時半からにして欲しい」とのご要望をいただいております。現在、学童クラブは、夏休み等の学校休業日には9時から開いておりますが、親が出勤した後、30分間子どもを一人で残さねばならず、不安に感じられることもあろうかと思っております。実は私も子育て時期には、学校休業時の開始時刻を早めてほしいという提案をしておりましたので、もう一回市の中で議論して、できることであれば進めていきたいと思っております。

セカンドスクールの見直しについて「市内の畑などを利用し、年間を通じて野菜作りなどを行えば、自然体験できるのではないか」という提案が出ていますが、現在もいくつかの学校においてこのような取り組みを行っておりますので、農家の方と連携しながら、通年型で取り組みを進めていきたいと思っております。セカンドスクールについては、子どもが親元を離れて7～9泊でさまざまな体験をするということは評価できるのかなと思う一方で、その長さが子どもたちの成長にとって心配ないことなのかということも含めて、今、教育委員会において、そのような体験をどういったらより有効に充実できるのかという点から課題を整理しております。今後の見直し方針が出ましたら、皆様にご報告したいと考えております。

中学校給食については、ようやく先週、検討委員会が立ち上がりました。まず、実現化に向けてどのような課題があるのかについて話し合っただき、それを踏まえて議論を進め、来年度には一部でも実現できればと考えております。中学校給食の検討委員会は公開で開催しておりますので、ぜひ皆様も時間がありましたらどのような議論を行っているのか傍聴していただき、市の方にご意見をお寄せいただければと思います。

放課後対策、青少年対策については、今は全小学校に「あそべえ」を設置しています。「あそべえ」については、評価もいただいておりますが、対象が小学生のみであることや、学校の中でかなり閉ざされた施設であるといった課題もあります。小学生だけではなく、幼

児から中高生くらいまでを含めた子どもの居場所について、今後、第四期長期計画の調整計画の中で議論してまいりたいと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については 20 ページをご覧ください。)

3. 緑・環境・市民生活

【市長】

八幡町地域は、市内でも緑が比較的豊かな地域で、緑被率も 3 割を超えています。逆にそのことで、**緑の管理**、草取りという問題が出てきます。草取りについては市でも配慮していますが、なかなか完璧にはいかないという面がございますので、これもやはり皆さんとやりたいということで、地域で緑を管理することについて、逆に提案させていただければと思います。

カラスの鳴き声については、早朝のカラスの鳴き声がうるさいとのことですが、これもやはり木が多いことからでしょうか。市としては、戸別収集の実施に伴い、各ご家庭で、カラスの被害にあわないようなごみの出し方を工夫していただいておりますが、ごみを荒らすカラスについてはやはり居心地の良いすみかはあるようでして、根絶はなかなか難しいかもしれません。

ごみ問題について、「この会場で使われているポストイットがもったいないのではないか」との意見をいただいておりますが、テープを使うにしてもある程度はごみが出てしまいます。この会においてもなるべく経費は削減したいと考えております。例えばこの看板なども、何度も繰り返し使えるようにしてありますし、市役所の中でも環境管理について細かく規定し、コピー用紙も裏紙を積極的に使用するといったことを行っておりますので、ぜひ皆様にも今後ともご協力いただきたいと思いますと考えております。

防犯については、先ほども出ましたが、パトロールの強化、おまわりさんの配備、そして交番の存続など、皆様と基本的に同じ考え方を持っております。地域がより安全になるように、武蔵野市としても取り組みますし、警察にも大いに要望していきたいと思っております。



市民活動については、コミセンの移転・改築の早期実現をという意見を多くいただいております。具体的に「一階に談話室を」などの要望をいただいておりますが、そういう具体的なイメージがないとなかなか先に進みませんので、大いに議論していきたいと思います。それから、この地域の特徴として、戦時中に一帯が中島飛行機の工場であったという歴史がありますので、貴重な資料はきちんと集めてそれを次代に伝えていく PR も必要ではないかと思っております。

防災については、住宅にも自動火災報知機の設置が義務付けられたことに対し、市からも支援してほしいとのご意見をいただいております。自動火災報知機は、初期消火や避難

につながるため非常に有効であり、市としても何らかの形で皆様に支援をしたいと考えておりますので、検討させていただければと思います。

スリーデーマーチの開催地が小金井公園に移ったことについては、中央公園で開催していた時には、人が集まりすぎて苦情が殺到していたということから、実行委員会の方で、武蔵野市で開催するのは難しいのではないかと判断もあり、小金井公園に移されました。ただ、コースとしては武蔵野市も含まれていますので、武蔵野市としても大いに協力していきたいと考えております。

就労支援については、市が企業を立ち上げて就労支援をしてはどうかとの意見をいただいておりますが、就労支援は東京都などが広域的に取り組むべき事業なので、就労支援自体を市が支えるというのは難しいかと思えます。しかし、これから団塊の世代の方々が地域で活動しようとする中で、シルバー人材センター等での就労支援などは行っているのではないかと考えておりますし、市役所でも中高年齢層の雇用促進に取り組んでおりますので、そういう取り組みを地道に続けていけたらと思います。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については22ページをご覧ください。)

1. 武蔵野市の鳥について

【発言意見】

武蔵野市の鳥というのは指定されているか。家の周りでは、5月ごろにイーヨ、イーヨという鳴き声が聞こえる。そのうち成長するとミンナイーヨネ、ミンナイーヨネと鳴くようになるが、これを武蔵野市の鳥にしてはどうか。

【市長】

「市民の木」、「市民の花」というのはありますが、「市の鳥」というのは指定していません。他の自治体ですと、例えば白鳥などを指定している自治体もあります。

2. タウンミーティングでごみを出さない工夫・緑化に対する助成について

【発言意見】

市長はポストイットではなくてもごみは出ると言ったが、やはりドラフティングテープとポストイットではポストイットのほうがかなり多くごみが出る。ごみは、なるべく出さないようにしていただきたい。

2点目として、第1回タウンミーティングでの意見でも出ていたが、ブロック塀の生垣化について、防災の観点からもう少し進めていただきたい。この八幡町地域でも、防災の観点から生垣にしたほうが良いのではないかとと思われるところが随所に見られる。防災課では、市が危険なブロック塀と判定した塀を改修・補強する場合、その必要経費の一部を補助している。一方で、接道部緑化に対する助成には厳しい制限があり、それをクリアしないと市の助成が受けられないために市民の負担が大きくなる。このようなことを踏まえ、防災と緑化の各部門がタイアップして、もう少し制約条件を緩やかにしてほしい。

【市長】

ご指摘のとおり、ごみはなるべく出さないようにします。

生垣の設置・保全に関しては、現在でも一定の条件を設けて助成を行っております。確かに生垣にすると地域に貢献するという面がございますが、それらについて全て市で補助するのはなかなか難しいものがございますので、ある程度皆様に支えていただければと思います。

4. 都市基盤

【市長】

都市景観については、私は市長になる前に全国各地の都市景観整備を手伝ってきましたので、やはり武蔵野市についても人気に恥じない景観づくりが必要だと思っております。これから、ぜひ武蔵野市の景観計画や景観条例をつくっていきたいと考えております。その中で、電線のない街並みというのは大きな課題ですので、今は駅周辺を中心に地中化事業を行っていますが、それを面的に地域に広げていくような施策を検討してまいります。そのためにも、皆様から電線類の地中化についてどんどん意見を出していただければと思います。

自転車問題については、やはり乗られる方のマナーが非常に悪いという問題があります。お隣の三鷹市では、警察と協力して自転車安全講習会を実施し、これを受講した人に自転車安全運転証をお渡しし、持っている人には駐輪場の利用について便宜を図るという仕組みがあるそうです。それも一つのヒントかと思っておりますので、単に講習会をやる、あるいは啓発キャンペーンをやるというのではなく、関連のある施策を生み出せばよいと考えております。



道路問題については、信号時間の変更は警察が管理しております。幅員などによって判断されていますが、高齢の方や足の不自由な方には渡る時間が十分でない場合もあろうかと思っております。そういう場合には、「この道路は幅が広いのに信号が短くて危険だ」ということを、具体的にお知らせいただきたいと思っております。

上下水道については、「旧中島飛行機が作った下水道を市がまだ使っているようですが、どの範囲ですか」という質問が出ていますので、都市整備部長からお答えいたします。

【都市整備部長】

武蔵野市の下水道は、3つの処理区に分かれています。第3処理区のうち桜堤3丁目を除き、吉祥寺北町5丁目の一部、緑町2丁目の一部、緑町3丁目、八幡町2・3丁目の一部、八幡町4丁目の68haの雨水の排水に、旧中島飛行機で造った下水道を現在も利用しています。管は、伏見通り、NTT北門から北へ延びる通り、クリーンセンター西側の通りに入っており、この3系統によって石神井川に排水しております。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については27ページをご覧ください。)

1. エコマネーについて

【発言意見】

都市基盤とはちょっと異なるが、自転車問題に関し、運転証によって駐輪場の便宜を図るといえるのは、エコマネーにもつながるのではないかと。

【市長】

吉祥寺南町でエコマネーに取り組んでいる方が、ちょうど本日この会場にいらしておりますので、その方にも意見を伺いたいと思います。

【発言意見】

吉祥寺南町では、地域通貨「ミーナ」という取り組みを始めている。まだ発展途上なので今のところはイベントなどで使うという状況だが、ゆくゆくは商店街などでも使えるようにしたいと考えている。まだ実績をご紹介できるほどには進んでいないが、例えばけやきコミセンなどでも始めている。各地域でそれぞれに取り組みを始めてはどうか。

【市長】

ありがとうございます。確かに地域通貨は発展していくのではないかと気がします。例えばボランティアをした場合に、地域通貨でお礼を差し上げて、その地域通貨をいろいろなものにさらに使用する。自転車の駐輪もそうですが、いろいろなアイデアを考える余地があります。大いに各地域で工夫をしていただければと思います。ゆくゆくは市としても統一的な施策ができれば良いと思いますが、まずは地域の方に検証していただいてその結果を見守ってまいりたいと思います。

5. 行・財政

【市長】

市民参加の中での職員の意識改革については、当然、市民の皆様と協働を進めていくにあたっては、市の職員が地域にもっと出て行くべきだと、再三申しております。やはり市民の皆様と対話をしないと、市の本当の課題を把握できないと思っておりますので、職員の研修の際にも必ずそういう話を繰り返しております。

効率的な行政運営の中で、「市議会議員の人数が多いのではないかと」というご意見がありますが、現在、議会の中でも定員について2つの方向から陳情が出ております。1つはこちらで指摘をいただいたように議員定数を見直して削減するべきだということ、もう1つはきちんと市民の声を届けるには現状の規模が必要ではないかということです。おそらく一定の期間の中で結論を出されるのではないかと思います。議会がどうあるべきかについては、是非皆さんからも議員さんにどんどんご意見を言っていただきたいと思います。市役所の職員の定数についても、必要最低限の定数にしていきたいということで、この何年間で大きく減ってきておりますので、皆さんに注目していただければと思います。

健全な財政運営については、冒頭にも申し上げましたが、今の税制改革で皆様にいろいろなご負担をかけておりますので、これは今後とも丁寧に説明してまいりたいと思います。しかし、必ずしもその結果、武蔵野市の税収が豊かになるということではありません。1つの心配事として、来年、住民税のフラット化が行われます。これは、今まで所得に応じて段階的に税率が変わっていたものを、一律にするということです。武蔵野市では高額所得

者の割合が多く、これが武蔵野市の豊かな税収を支えていましたが、その層の税率が下がることから、逆に武蔵野市としては減収となってくるという計算になります。

さらに、税金の使い方につきましては、将来展望をきちんと考えていかななくてはならないのではないかと考えております。調整計画の中でも議論し目標を立てて、必要な施策に使っていくことにしたいと考えております。

市長交際費については、ご心配をいただいておりますが、私は必要最低限でよいと考えています。昨年度に関しては、前市長が半分使われているのでトータルではあまり減っていませんが、私はこの10ヶ月間かなり頑張りました、公約の「1年間で100万円」は守れるのではないかと思います。また、だからといって市民の皆様との交流が減ったかということ、そうではないと思っております。皆様から行事等のご案内をいただいた場合にはできるだけ参加しており、交際費を減らしたからといって、交際が滞っているとは思っていません。

予算否決については、いろいろな課題がありまして議会の判断をいただいたということでございます。ひとつは調整計画をもっとロングスパンで考えましょうということ、それから武蔵野プレイス（仮称）についてもいきなり削減、縮減ではなく、専門家の皆さんに一定の見直しを検討してもらうということで予算を認めていただきましたので、平成18年度の新たな予算を6月から執行しております。

最後に、**住んでよかった**といわれる武蔵野市にしてくださいということについては、「住んでよかった」という過去形ではなく、「今住んでいてよい」と皆さんが思えるまちを、地域の皆さんとタウンミーティングを行い、いろいろな課題を解決しながら、ともに生きていきたいと思っております。

(参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針については30ページをご覧ください。)

1. 生垣の管理・カラス対策について

【発言意見】

私の家の近くで、ブロック塀の上から生垣の枝が道路上にはみ出しているところがある。それが、片側だけではなく両側から出ているので、幅員4mの道が3m弱しか使えない。生垣は、公道の通行に支障のないように管理して欲しい。また、先ほどカラスの問題が出たが、確かカラスは害鳥になっていたと思うので、確認して十分に対応していただきたいと思う。

【市長】

生垣に関しては、確かに両側に木がいっぱいあると緑の景観としては良いですが、車や歩行者の通行としては障害になる場合があります。市としてもきちんと管理するようPRしてまいりたいと思っております。

【環境生活部長】

カラスに関しては、市役所環境政策課で、繁殖期に一定程度の卵を除去し、繁殖防止に努めております。

2. 職員の意識改革について

【発言意見】

市民の中には、いろいろな活動を、積極的に行政と一緒にやっという方が多くいる。しかし職員が不遜な態度をとっていると、市民はだんだんお上意識を感じて意気消沈してしまう。ボランティアは、基本的に時間も金もエネルギーも自分の持ち出しで活動を行っているのだから、それを踏まえて市民への配慮が必要。行政に何でもやって欲しい、全てお願いしますという意味で申し上げたのではない。

また、行政がさまざまな計画を策定する際には、横断的に柔軟に取り組んで欲しい。昨年、環境基本計画を改定した際には、環境を軸として考えていく中で、環境と防災、環境と福祉という視点からの意見が出たが、取り入れられなかった部分が多い。



【市長】

たしかに、市民の皆様との協働を進めていくためには、職員の側も勉強や研究が大いに必要です。また、昨年度の環境基本計画に関しては、環境基本法の流れから一定の縦割りの計画が主体にならざるを得ない部分もあったのかと思いますが、今後、さまざまな計画の策定の際には、なるべく横のつながりを持った総合的な視点での計画作りを進めてまいりたいと思います。

(4)閉会のあいさつ

【八幡町コミュニティ協議会委員長】

前半は八幡町のまちづくりについて、後半は市政全般についてということで、2時間半という短時間でありましたけれども、大変中身の濃い、すばらしい議論をいただきました。この暑い中、むんむんするような雰囲気、大勢の方に参加していただいたのは何よりだというふうに思います。

そういうことで、今出されました課題や意見につきまして、我々も学びながら、そして私たち市民の側からも市政に参加していくという方向で、みんな、人と人のいい関係や、住みよいまちづくりや、そしてよりよい武蔵野市をつくっていくために、我々もこれを契機に参画していきたいというふうに感じました。ありがとうございました。

【市長】

最後まで参加いただきましてありがとうございました。タウンミーティングは、地域の課題や市全体の課題を直接お聞きすることができるので、非常にいい会ではないかなというふうに思っております。回答が不十分な面が多々あったと思いますが、今日のこの時間はこれでご了解いただきまして、持ち帰って、きちんと市の考えをまとめて、また皆さんに報告書としてお返ししていきたいと思っています。

第 6 回 タウンミーティング
H18.8.6開催・中央公園北ホール

今日この場だけではございませんので、これがきっかけとなって、皆様も一歩前へ出ていただく。私も、市の職員も一歩前へ出たいと思います。ぶつからないように、うまく手をつなぎながら、八幡町のまちづくり、また武蔵野市のまちづくりを一緒に進めていきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。

それから、本日の企画運営に当初から関わっていただきました、渡邊委員長はじめ八幡町コミュニティ協議会の皆さん、本当にありがとうございました。

2. 参加者がカードに記入した意見と市の回答・対応方針

①健康・福祉

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
高齢者福祉	1	福祉公社の会費をもう少し下げしてほしい。	福祉公社は、設立以来25年間、月額一律1万円の基本サービス料金でソーシャルワーカー、看護師の定期訪問や休日、夜間等の緊急対応などを提供してきました。近年、サービスのバリエーションも増え、同時に権利擁護サービス(財産保全・金銭管理サービス)などを利用する重度の利用者も非常に増えてきています。このような状況の中で、利用者アンケートなどの結果も参考にしながら、基本サービスとサービスに応じた料金体系を総合的に見直し、再構築を考えるため、公社のあり方研究委員会などを通して論議されているところです。
	2	福祉公社の会員になりたいのですが、現在の会費が、月1万円ですが年金生活では大変なので、もう少し安くならないでしょうか。	
	3	年金生活者の税金を考えてください。	
介護保険	1	介護保険の市の7割援助廃止の再考。武蔵野プレイスより優先すべき課題ではないか。	旧制度からの激変緩和のため利用者負担の7%を所得等に関係なく市独自に助成する制度については、所期の目的を達成したと考えられることから6月利用分までで終了し、7月からは、低所得等の方に限り5%の補助という形で新たな制度をスタートしたところです。
	2	介護保険などで高齢者の税負担が重くなっていますが、市長はどう見えていますか。	本市では、介護保険料について細かく(10段階区分)所得段階を設定することで被保険者の負担能力に配慮しています。
	3	介護保険についてこれからどんどん上がって年金暮らしには不安がいっぱいです。	現行制度では、保険給付費の19%を65歳以上の方(第1号被保険者)が負担しているため、保険給付費の増加により保険料が上がります。
	4	介護保険の件について保険料これから先もまだ上がる予定ですか。	市では、現在、高齢者の方が、要介護の状態になることを防いだり、状態の悪化を防いだりすることに重点を置く介護予防の事業に取り組んでいます。
	5	市民が自由に実習できる介護センターを常設。	介護方法についてのご相談は各地域の在宅介護支援センターやケアマネジャーにご相談下さい。また市内の介護施設では介護教室なども開催しています。市報などでご確認ください。
障害者福祉	1	視覚障害者への対応について年金の現況届けのような視覚障害者が記入することが難しい書類については、市の職員が代筆するような体制を整えてほしい。(今までは、年金の担当と福祉の担当でたらいまわしにされた)	職員の不十分な対応につきましては大変申し訳なくお詫びいたします。記入困難な方の年金の現況届けは、お申し出があれば保険年金課職員が代筆しています。また障害者福祉課には専門職の視覚障害者生活訓練指導員を配置していますので、ご遠慮なくご相談ください。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
地域福祉	1	一人暮らしの人の安全・介護の手助けをしてほしい。	市内に13ある地域社協(〇〇福祉の会)の多くで、安心助け合いネットワーク活動を実施していますので、市役所又は市民社協にお問い合わせください。また、介護については、介護保険制度による要介護認定に基づき、ケアマネジャーがケアプランを作成して支援を行っています。また、要介護認定で「自立」と認定された方でも、一人暮らし等で、どうしても家事援助などが必要な場合、介護保険外でヘルパーを派遣する制度もございますので、高齢者福祉課にお問い合わせください。
	2	高齢世帯への地域の助け合いについて 現在老人の一人暮らしには、コミュニティ式の助け合いがあると思いますが、85歳以上の二人暮らしでも災害時の避難などを助ける仕組みが必要。	市では4年に一度独居高齢者の調査を行っていますが、住民票上では一人なのに同じ住所で別の住民票を作って上下で同居されていたり、かと思えば日中だけ独居になる方もいらっしゃいます。ご夫婦など住民票が同じ高齢者の世帯はある程度把握できますが、それだけでも限りません。なかなか高齢者世帯の実態を把握することが難しい状況です。昨年策定した福祉総合計画に基づいて、地域社協が実施する安心助け合いネットワークを支援するとともに、災害時の要援護者の情報を収集し、いざと言うときに役立てる仕組みづくりを進めています。
医療・健康増進	1	エナジートロンをぜひ公共の場所に特にコミセンに。	エナジートロンは、家庭用電位治療器といわれるものの一企業の商品名となります。家庭用電位治療器は、薬事法で「主として医師の指導によって使用される家庭用の電気治療器」と、原則として医師の指導の下で使用することが定められております。市としては、公共施設で治療器による治療行為を行うことが適切かどうか、医師の指導がない使用を認められるか、コミセンにおける安全管理対策等をどうするか、など勘案すると、現在のところ公共施設での設置は考えておりません。

②子ども・教育

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	1	子供の医療費補助 児童手当制限の拡大を。	児童のいる家庭に対しては、従来から国や都の制度に市が一部市費を負担する補助・助成制度として優遇策がとられています。例えば児童保護者に対する児童手当、児童育成手当、児童扶養手当などがあり、医療に関しては乳幼児医療費助成制度があります。児童手当は、平成18年4月より対象年齢が小学3年修了前から小学校修了前に引上げられ、所得制限限度額も緩和されました。乳幼児医療費助成についても、平成17年10月から、乳幼児の医療保障の公平の面や子育て支援策の一環との観点から市の独自事業として、未就学児の全ての保護者の所得制限を他市に先駆け撤廃しました。いずれにいたしましても手当関係の制度は次世代育成支援策を推進することや少子化対策の一環などとして拡大する方向にあり、国や東京都の動向を見守りたいと思います。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
子育て支援	2	新生児全員に育児手当を	新聞等の報道によりますと、国は少子化対策の一環として、現行の児童手当に加えて3歳未満の子どもには増額する方向で制度改正を検討しているようです。市としても国の動向を見守りながら検討課題としたいと考えています。
保育園	1	市立保育園(幼児クラス2F)でクーラー設置が一部の部屋のみで園へ、ぜひ市長自らが暑い日を選んで訪れてほしい。	私(市長)の子どもも保育園に通っていたので、保育園の現状はわかっているつもりです。涼環境創出事業は評価をしっかりと行い、子ども成長・発達に良い環境にしていきます。また、クーラーの設置についても前向きに検討してまいります。
小・中学校教育	1	都営アパート集会所のガラスをエアガンや石で割る人がいました。公共の建物にもいたずらしないように。子どものときから教育を望みます。	家庭や地域との連携を密にしながら、子どもたちの規範意識や社会性をはぐくむ教育を充実してまいります。また、そのような行為を見かけました際には警察への通報もお願いいたします。
	2	セカンドスクールの見直しをしてください。市内の田畑等を利用して、野菜や米作りを年間を通して体験するほうが、“ふるさと”を感じ、もっと自然体験をできると思います。	小学校から中学校にかけての9年間を見通した今後のセカンドスクール等体験活動の望ましいあり方について、現在、体験活動検討委員会で検討しております。また、現在もいくつかの学校においてこのような取り組みを行っていますので、引き続き取り組みを進めていきたいと思っています。
中学校給食	1	中学校給食の早期実施をお願いします。	7月に中学校給食検討委員会が発足しました。この委員会で、中学生にとって必要な給食のあり方などを検討いただき、その検討内容などをもとにして、中学校給食実施計画づくりを目指します。
	2	学校給食が始まるとのことですが、残飯が出ないような料理にしてください。テレビで給食費の支払いが不払いがあると聞いていました。	給食の献立を考える際、栄養バランスや正しい食習慣を身につけることなどを考慮し、いろいろな食材を使うよう心がけ、その上で、子どもたちが食べやすい調理方法を心がけています。また、給食費不払いの問題は、本市では起きていませんのでご安心ください。
学童クラブ	1	児童の安全の観点から、学校休業日の学童クラブの開所時間をせめて朝8時半からにして欲しい。	現在学校休業日の保育開始時間は9時となっておりますが、開始時間を8時30分とする点は今後検討していきます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
青少年施策	1	児童館をつくってください。青少年の居場所を含めた縦のつながりができるように。	児童館の今後のあり方については、「あそべえ」「0123子育て支援施設」との関連を整理するとともに、調整計画を策定する中で市民の皆様のご意見をうかがいながら検討していきます。なお、今後武蔵境南口に建設予定の武蔵野プレイス(仮称)において、中高生の居場所としての機能を持たせる予定となっております。
放課後対策	1	小学校のあそべえで紙ヒコーキ教室を広げてください。 ・桜野小学校で実施成功 11の小学校にすすめたい	地域子ども館「あそべえ」は、地域の様々な方々が多様な形で関わり、保護者同士や地域社会のネットワークを深めながら、子どもたちの自主性、創造性、社会性などを育むという考え方に基づいて運営されております。各館の企画運営(イベント事業含む)は、各種地域団体(学校長・副校長・PTA・学校施設開放運営委員会・青少協地区委員会など)の皆様から選出された委員で構成する企画運営会議が決定し、行なっています。市から紹介することは、可能であると考えますが、採用するかどうかの判断は個々の会議の自主性に任せていますので、ご理解をお願いしたいと思います。なお、地域子ども館は、子どもが主人公であり、大人は、子どもたちの安全で自由な居場所づくりなどをサポートするものと認識しています。保護者はもちろんのこと地域で活動されている方々にご参加いただくことは大変好ましいことであると考えています。

③緑・環境・市民生活

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
ごみ	1	粗大ごみの回収について有料化になっているし入口部までの運び出しについて高齢単身者など、市のサービスでできないでしょうか。	収集職員は、原則的に室内等に立ち入ることはできません。入口部までの運び出し等についてはシルバー人材センター(0422-55-1231)にお問合せくださるようお願いいたします。
	2	資源を節約し、無駄を見直すため、カードではなく裏紙を使いましょう。付箋紙(ポストイット)は、便利だが、もったいない。裏紙をつかい、貼るときは、ドラフティングテープ(張ってすぐはがせ、また、貼り直せるテープ)を使うとよい。	貴重なご提案ありがとうございます。今後、検討したいと思います。
	3	資源を節約し、無駄を見直すため、「アンケート」と「会の進行・カードの記入」を両面印刷しましょう。年月日、場所、第*回は、必ずしも「本日の会の進行・カードの記入について」には、必要ない。書式は、共通して使えるように工夫すればよい。そうすれば、毎回タウンミーティングのたびに使えるので、大量に印刷(両面)しても、無駄にならない。裏面も無駄にならない。	貴重なご提案ありがとうございます。今後、検討したいと思います。ただし、毎回、各コミュニティ協議会と共催しているため、開始時間や時間配分がそれぞれの会で違ってきますので、すべての書式を統一するのは難しいと思われます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
環境	1	早朝のカラスの鳴き声に困っています。その対策をお考えください。	カラスは年に1回、繁殖の時期があります。4月から6月位に卵を産み雛から1ヶ月位で成鳥になります。その間に雛が餌を欲しがり親鳥に対して朝から泣き声を出す場合がありますと思われます。カラスはこの時期、卵や雛を守るため攻撃的になり人を攻撃する場合があります。その場合は巣の撤去などしていますので、ご連絡を下さい。 なお、残念ながら通常時の鳴き声に関しましては、対処する方法がありません。
	2	犬の散歩について マナーは、必ず守ること。立て札も必要です。	飼い犬のマナーについては、市や獣医師会などにより毎年10月に「犬のしつけ方教室」を開催しており、本年については10月21日に予定しております。立て札については保健推進課と環境政策課で配布しております。
緑・公園	1	市民農園をもっと増やしてほしい。	現在、市民農園は市内に6園539区画あります。利用期間は2年間で1年ごとに3園づつ申込をお受けいたしています。 市民農園用地は、農家から借用しているものですので、本市のように農地が少ないところでは農地を借用することは非常に困難ですが、市民農園利用希望者も多いことから、今後とも適切な用地があれば新設できるよう取り組んでまいります。
	2	遊歩道の樹木に名札をつけて楽しませてください。	千川上水遊歩道やグリーンパーク遊歩道の一部には、樹名板を設置してある高木類がございます。今後は、市内には小学校の児童の手作り樹名板を設置している公園も多数ございますので、そのようなことも含め検討していきたいと思っております。
	3	市制50年の花火の思いでは、心に残っている。関前では、花火大会がある様子。市主催の中央公園での今年の予定をお尋ねします。どの子どもでも大人でも楽しめる。	花火大会は、市制施行45周年の際に実施いたしました。が、大変心に残るものでした。しかし、安全上の問題などもあり、今後の実施は難しいものと考えています。
	4	雑草の刈り取りを定期的をお願いします。夏場は、特にこきざみに。	市で管理している公園は市内で約150箇所あり、この公園すべてをご指摘のとおり管理するのは困難であると考えています。今後は、市民の皆様と緑の管理方法について考えていきたいと考えています。
	5	中央公園の歩道は、車椅子には適していない。部分改修をやっているが、基本的には、不十分。最近、老人施設のピクニックの場となっている。	中央公園は都立公園のため、市では管理を行っていません。東京都に対し、ご要望を伝えます。
	6	中央公園は、夜は暗いし管理人もいない。重大事件が起きる前に防犯対策が必要。怪しげな人物も見受けられる。	中央公園は都立公園ですので、市では管理を行っていません。都や警察に対して、ご要望を伝えてまいります。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
緑・公園	7	老人憩いの場に、老人が背伸びできる用具とか、リハビリウォーキングみたいな用具を備えてほしいです。	公園の改修工事とあわせ、近隣住民の方々と調整しながら、設置についても検討を行いたいと思います。
	8	小公園に運動機具など。	市内約150箇所の公園を順次、リニューアル改修を行っています。運動器具の設置についても改修時に行う、近隣住民の方々とワークショップ等で検討していきたいと考えています。
就労支援	1	Working Poor対策として市で企業を立ち上げ、Working Poorたちを雇用してやってください。	雇用については、景気と雇用は密接な関係があるとともに、かねてから企業の海外進出などにより国内の労働需要が減ってきていること、努力や訓練が必要なことや責任ある仕事に対してやりたくない若者が増えているなど就職者の仕事に対する選択の問題、企業自身も正職員を少なくして臨時的な職員を使い、内部業務を外部委託したりしており、その結果が雇用問題に現れています。雇用政策に関しては国政で議論いただくとともに、社会全体で考えていかなくてはならないものであります。本市レベルの基礎的な自治体としては大きな効果がある解決策は提示できませんが、本市も一自治体でできることとしてハローワークや東京都仕事センターと連携して就職支援セミナー等を開催しています。就労支援事業は広域でおこなわれておりますので、それぞれ機関で行なう事業の周知としてパンフレットの配架をしています。今後とも東京都やハローワーク等と連携して取り組んでまいります。 なお、市の直接的な雇用として、中高年齢者・障害者雇用創出事業を実施しておりますが、Working Poor対策を目的とした企業の立ち上げまでは検討しておりません。
防犯	1	防犯パトロールについて。子どもたちの安全を第一に守れるようにパトロールに力を入れてほしい。また、4丁目には、空き巣が多く入られることがあるので、パトロールを強化してください。	子どもの安全についてのパトロールは、ホワイトイーグル、市民安全パトロール隊を運用しており、今後も引き続き安心・安全に努めてまいります。空き巣などの発生については、警察と連携し、市民安全パトロール隊に情報を提供し、パトロールの参考としています。
	2	おまわりさんが常にいる交番を。特に夜間は必要大。	交番の整理統合に関連して、市として警視庁、武蔵野警察署に交番の存続、警察官の配置、パトロールの充実を要望いたしました。
	3	八幡町の交番の件 昨夜、伏見通りガソリンスタンド前で、車2台の事故がありましたが、交番に誰も居ず、事故を起こしたものは、車を置いたまま逃げたそうです。	
	4	八幡町4丁目の交番は常に警察官がいるべきだ。伏見通りの拡張、延長により交通量も多大になり、交通の要所となった。	
	5	交番は、必要です。少し前、私の姑は、毎日交番でお世話になりました。	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
防犯	6	防犯パトロールについて。 街灯を増やしてほしい	街灯の明るさについては、警察と連携して防犯上問題があると思われる箇所について対応してまいります。 なお、生活道路などの蛍光灯は暗いところがありますので、現行の3倍以上の照度を確保するため、蛍光灯器具の取換えを進めています。八幡町全域を18年度中に取り替えます。それでも暗い場所については設置後に再度検討したいと考えております。
防災	1	武蔵野消防署への起震車配備の協力を(現在は、都から借りる状況で、簡単に借りることができない。)	現在東京消防庁は2台の起震車を配備していますが、都の予算上の問題もあり、武蔵野消防署に単独配備するのは困難であると思われます。
	2	新築住宅に煙感知火災警報器の設置が義務づけられたが、順次古い住宅にも設置しなくてはならないといけないと思うが、市からの助成補助は期待できますか。(例えば、耐震転倒防止機具等の補助)	東京消防庁の統計によれば、住宅用火災警報器(煙・熱)が作動した火災での死者は、その他の火災による死者の3分の1となっており、有効性が実証されています。消防署との連携も含め、検討課題であると認識しています。
コミセン	1	コミュニティの移転について コミュニティセンターの移転には、特に反対ではありませんが、隣の公園は、昭和26年ころに住んでいた人が公園上地したもので、建物を建てないでほしい。	八幡町コミュニティセンターの建替えにつきましては、昨年12月の市議会で陳情が採択されました。 第四期長期計画に定められている「公共施設の計画的整備」、すなわち「中・長期的な視点から、公共施設の維持・更新計画を作成するとともに、財政計画との整合性を常に検討する」「『防災』『安全』『福祉』『環境』などの視点から、総合的な整備計画を策定し、実施していく」という観点から、今年度から開始された「調整計画」策定の中で、市民の皆様と一緒に総合的に検討していきたいと考えています。
	2	八幡町コミセンを早く大きくしてほしい。1丁目、3丁目の人に便利になるように。	
	3	八幡町の新しいコミセン建設の早期実現を	
	4	八幡コミセンをできるだけ早くつくってください。	
	5	八幡町コミセンの建てかえについて 隣の老人いこいの広場をなくさないでほしい。	
	6	八幡コミセンの建設場所について。	
	7	新しいコミセン 1階に談話室と旧中島飛行機資料室を設置していただきたい。(小学生の見学コース)	
	8	八幡町を武蔵野の文化の町に。(その様な形の新しいコミュニティセンターの建設を期待します)	

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
コミセン	9	コミセンの運営について コミセンにより、ずいぶん市民へのサービスに違いがあります。当コミセンは、あまり活動していないようですが・・・	コミュニティセンターの管理運営やコミュニティ活動については、「自主参加・自主企画・自主運営」の自主三原則に基づいて、各コミュニティ協議会の自主的な判断に委ねられ、それぞれ地域の実情に応じた特色のある活動がされています。 また、各コミュニティ協議会の活動については、「コミュニティ評価委員会」により、第三者的な評価活動を行っています。
生涯学習・スポーツ	1	中島飛行機の歴史案内板を作ってください。	市では、平成11年4月に、戦時中、旧中島飛行機武蔵製作所があった武蔵野中央公園の開園10周年の節目に合わせて、公園内に「歴史の碑」を建立しました。碑には、軍需工場での戦闘機の生産、9度の空襲、米軍宿舎の返還運動、公園の建設など、現在までの歴史を記し、犠牲になった人々に追悼の意をあらわし、市民に平和の大切さを考えるきっかけにしております。
	2	武蔵野市内に歴史資料館を残す郷土館を作してほしい。	市では従来歴史資料館の重要性を認識し、検討を続けてまいりましたが、具体的な実施計画を立てようという段階で、その都度、財政面や社会的な要因で見送られてきた経緯があります。建設につきましては、今年度始まった第四期長期計画の調整計画策定の中で検討を予定しています。
	3	旧中島飛行機武蔵製作所を語らずして武蔵野市のまちづくりの歴史は、語れないと思いますが、市長の考えは。	武蔵野市の史実として、市内に中島飛行機武蔵製作所があり、そのため何度も爆撃を受けたという歴史については、平成11年4月に作成した「都立武蔵野中央公園の歴史」というプレートや、「中央公園の前身は戦前の中島飛行機製作所という一大軍需工場の跡地です」という案内板などを設置して市民に周知してまいりました。 また、市内の小学校3、4年生が使用している社会科副読本「わたしたちの武蔵野市」の中で、「戦争中の生活」を取り上げ、当時空襲を受けた中島飛行機の工場の様子を写真入りで説明しています。 この地域の歴史と特性を若い世代に伝え、平和の大切さを訴えていくことが重要であると認識しております。
	4	成熟の当市に民俗資料館が欲しいと思いますが、いかがですか。	民具等を中心に集めた民俗資料館につきましては、小金井公園の中に、また市レベルでは府中市が大規模な施設を作っています。府中と武蔵野の民俗生活にはそう違いがないということもあり、武蔵野市では、旧家所有の古文書・古地図、開村以来の行政資料や公文書を中心とした文書系の歴史資料館の建設を検討してきた経緯があります。具体的な実施計画を立てようという段階で、その都度、財政面や社会的な要因で見送られてきました。今年度始まった第四期長期計画・調整計画策定の中で検討を予定しています。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
生涯学習・スポーツ	5	定着していると思っていた、スリーデーマーチがなぜ急によそに移ったのですか。	スリーデーマーチを運営している日本ウォーキング協会から、会場が参加者数に比べて手狭になったので小金井公園に会場を移したいとの強い申し出があったためです。 市報や新聞プレス、参加申込チラシでも広報いたしました。
	6	紙飛行機の市民理解と利用 ・老壮大学での教育 ・リーダーズスクールの現況 ・小、中学校での科学教育	老壮セミナー(平成15年より老壮大学から名称変更)のカリキュラムについては、教育的観点から最新のニーズに応える内容で実施しており、今後内容の研究をまいります。 また、身近な事物や現象についての観察や実験を通して、子どもたちに科学的な見方や考え方を養う科学教育を充実してまいります。

④都市基盤

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
都市景観	1	スマートな町の案内板を設置しましょう。	本市では、「福祉公共サイン計画」や「公園サイン計画」などに基づき案内板の設置を進めていますが、まちには多種多様なサインが混在しており、今後、景観まちづくりの推進のため、受け手にとってわかりやすいものを、屋外広告物や看板等とともに、市民の皆様と一緒に探っていく考えております。
	2	電線を地下に入れ、電柱をなくしてください。	市では3駅周辺の道路を中心に、電線類の地中化整備を進めているところですが、今後もより一層の整備に向け、計画的に進めてまいります。
道路	1	生垣の枝が狭い道幅をより狭くしているところがあります。幅員いっぱいには利用できるように対処してもらいたい。	市では、生垣等が原因で道路幅を狭くしていたり、見通しがきかないなどの生垣の所有者に対して、適切な管理をするよう指導しております。今後もパトロールや市民の声をもとに指導してまいります。
	2	八幡町交番前横断歩道の歩行者用信号時間をもう少し長くできないでしょうか。小さな子、高齢者が渡りきれないときがあります。	武蔵野警察署を通じて、警視庁交通管制課に対し、信号時間のセッティング変更について申し入れをしました。
	3	外環道路が地下化になったら、自然の破壊が進みます。地下水、雑木林がつぶされてしまうことに不安を持っています。これは、武蔵野市民の皆さんのみならず、地球環境の問題になってきます。	国と都は、地上部への影響、環境への影響等を大幅に緩和することができるという考えから、高架構造を地下構造に見直しました。 大深度地下方式では、地上方式と違い環境影響への負荷が低減されます。深層地下水や地上部には、ほぼ影響がありません。しかし、残念ながら、インターチェンジのある地上部分(本市にはありませんが)では、地下水や植物への影響は避けられません。一方、このままでは車社会の渋滞等により、動植物へ負担を強いている現実があり、環境破壊が存続しています。その意味では渋滞等の緩和になるとすれば、環境改善になるといえます。道路と環境問題の関係は色々な事柄と関係していますので、様々な点を考慮しなければならぬと考えます。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
道路	4	北高正面出入口の前の道路をよく歩いておりますが、桜の木が茂っていると、街灯が暗く、また、桜の木の根が老木のためか、道路に盛り上がり、足元がとても歩きにくい、転びやすい。ぜひ、整備していただきたいと思えます。	伏見通りの桜の根による舗装の盛り上がりについては、調査を行った上で対応していきます。
	5	武蔵野中央公園南側のバス通り、自動車の上向きライトでまぶしいところへ、無灯火の自転車が見えず、危ない思いをしました。この辺の道が夜間とても暗いです。電気をつけてください。	生活道路などの蛍光灯は暗いところがあります。そこで現行の3倍以上の照度を確保するため蛍光灯器具の取換えを進めています。八幡町全域を18年度中に取り替えます。それでも暗い場所については設置後に再度検討したいと考えております。
	6	外環道(練馬から西東京市を経て当市に伸びる分)について説明してもらいたい。	「外環」(東京外かく環状道路)は、都心から約15kmの圏域を環状に連絡する延長約85kmの道路で、現在は常磐道と結ぶ三郷ジャンクションから関越道と結ぶ大泉ジャンクションの間が開通しています。都内区間の関越道から東名高速の間、約16kmが未整備となっており、市内の地域では、吉祥寺東町、吉祥寺南町がこのルート上に位置しています。都は今年4月、この区間について、地下40メートル以下の大深度地下化の方針を打ち出し、6月に都市計画の変更案を公告しました。詳しくは、国土交通省が発行している「外環ジャーナル」あるいはホームページ(http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/)をご覧ください。
ムーバス	1	公共施設をめぐるムーバス路線の増設を。武蔵境駅方面。	ムーバスの利用目的についてのアンケート調査等の意見では、最寄りJR駅、買い物、病院などが多く、市役所等公共施設については、年に1・2回との回答でした。よって公共施設を巡るムーバスルートについては、現在は考えておりませんが、ムーバスの目的である市内のバス交通不便地域の解消が、あと1~2年程度でほぼ解決できると思いますので、その後、ご指摘のことなども含め、新たなムーバスのあり方等研究していきたいと考えております。また、武蔵境駅~市役所のルートについては、以前一般の路線バスに補助金を使い運行しておりましたが、利用者が少なく廃止した経緯があります。このことも今後の研究課題とさせていただきます。
	2	ムーバスは、市民に喜ばれているが、いまだ一度も利用していないので、お尋ねします。バス内の広告をお願いしたいが、許可方法と期間と代金はどうなっていますか。	ムーバスのコミュニティボード使用のことについては、市役所の交通対策課で受付しています。車両台数は14台ですので、交通対策課の予備とあわせて15枚をお持ち頂き、掲示用として確認印を押します。そして、運行バス会社へお持ちいただき、ムーバスのコミュニティボードに貼っていただきます。サイズはA4まで、期間は2週間で、料金は無料です。ただし、営利目的のものについては、掲示できません。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
自転車	1	自転車の安全マナーを徹底する講習会をコミセン単位でして欲しい。	今年度から、市民等の意見も聞きながら、自転車安全利用の推進の方策を図ってまいります。その中の、利用マナーの啓発講習会等の方法を検討する中で、考えてまいります。
	2	駐輪場をもっと広域に作って欲しい。駅前駐輪場(指定)をもっと工夫してもっと多くとめられるよう考えて欲しい。整理員の教育を。	駅周辺の駐輪場については、ご指摘のとおり駐輪スペースが不足しておりますので、駅から多少離れた場所でも、利用範囲と考えられる所は設置していきたいと考えております。なお、1台でも多く駐輪出来るよう、立体化等の研究もしてまいります。また、自転車利用者が気持ちよく駐輪場を利用できるように、自転車整理員の教育についても努めてまいります。
	3	駐輪場での整理の仕方空間をなくすため自転車の移動をやっているが、なるべく移動は場を少なくするように指導してほしい。整理している人も大変。利用している人も置いた場所が相当違って探すのに大変。	駅前の自転車駐輪場は不足しており、一人でも多くの方に利用いただけるよう整理をして、規定台数より少し多く駐輪しております。しかし、利用者の方が探すのに困らない範囲で整理するよう整理員に指導はしておりますが、今後も、この件に対し指導の徹底を図ってまいります。
	4	自転車で移動することが多いので、駐輪場の確保に苦労しています。駐輪場を増やして欲しいと思います。	駅前の駐輪場については、現在、不足しておりますので、今後も引き続き増設にむけて、用地確保などに鋭意努めてまいります。
	5	自転車の共用システムはなぜ廃止されたのか。よいシステムと思っていました。	武蔵境駅南口の共用サイクルシステムについては、平成18年3月末までの期限を決めて試行をいたしました。今後の事業化等については、暫定的ではなく、恒久的な駐輪場への設置を研究してまいります。
住宅	1	家のことで立ち退きを言われている。市長さんにあつてお願いしたい。私は、60年家から出ていない。出たのは、結婚して4年間外で、後は父と母のところまで死ぬまでいた。	市営住宅・福祉型住宅の申込み資格及び選定基準は以下になっております。 <申込み資格> ○市営住宅・・・①市内に引き続き1年以上居住していること、または、市内の事業所に引き続き2年以上勤務していること②収入が家族数に応じて定められた「収入基準内」であること③同居する親族があること④現に住宅に困っていること ○福祉型住宅・・・①65才以上であること、または、障害者手帳等の交付を受けていること、または、配偶者のいない女性で同居者が20歳未満の子だけであること②市内に引き続き3年以上居住していること③収入が家族数に応じて定められた「収入基準内」であること④現に住宅に困っていること <選定基準> ○市営住宅・・・申込み資格を備えている者に対して抽選による選定 ○福祉型住宅・・・申込み資格を備えている者に対してポイント方式(住宅困窮度に応じて点数をつけ順位をつける)による選定

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
上下水道	1	旧中島飛行機の作った下水道を市がまだ使っているそうですが、どの規模ですか。	武蔵野市の下水道は、3つの処理区に分かれています。第3処理区のうち桜堤3丁目を除く(吉祥寺北町五丁目の一部、緑町二丁目の一部、緑町三丁目、八幡町二・三丁目の一部、八幡町四丁目)68haの雨水の排水に、旧中島飛行機で造った下水道を現在も利用しています。管の大きさは1,200mm、総延長は2,955mで、3つの系統によって石神井川に排水しております。

⑤行・財政

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
市民参加	1	市長の市政遂行姿勢には大賛成です。協働して市民が主役の市政を。	市民も市政に大いに参加できる場を広げていきますので、積極的に参加してください。
	2	市民と行政との協働(事業)にはまず市役所職員の意識改革が必要 例>環境街づくり協働事業 昨日、“むさしの地域猫の会”に参加された職員の発言(暴言)には、納得いかない。	職員の意識改革については、当然、市民の皆様と協働を進めていくにあたっては、市の職員が地域にもっと出て行くべきだと考えております。市民の皆様と対話をしながら市の本当の課題を把握し、解決に努めていきます。
	3	四長の行・財政部門に「職員の意識改革」をぜひ入れて欲しい。 ①地方公務員(市役所職員)は「公僕」で、給与・仕事の7割は、市民からの血税でまかなわれている。仕事の第一は市民へのサービスである。 ②①を遂行するために許認可を含むさまざまな権限を与えられている。 ①を忘れて②斧を振りかざすようでは、市民は、役所から離れていくだけである。	平成17年度から平成21年度までを計画期間とした、武蔵野市行財政集中改革プランの中にも「職員研修体制・能力開発支援の充実」という目標が定められております。また、平成20年度を初年度とする「第四期長期計画調整計画」の策定作業の中でも、当然取り上げられるべきテーマであると考えております。
情報公開	1	不祥事には、担当者の責任を明らかにして、再発防止すべきと考えます。	市では、本年7月に「懲戒処分の指針」を作成し、その中で公表基準について定めています。市としては、この指針を活用し、不祥事が発生しないように努めてまいります。
効率的な行政運営	1	市職員の人数をスリム化するように。	平成17年度から平成21年度までを計画期間とした、武蔵野市行財政集中改革プランでは、平成17年4月から5年間で職員数を100名削減(削減率9%)を定めております。計画に沿って、人数をスリム化してまいります。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
効率的な行政運営	2	議員の数が人口の割に多い。	本市の市議会議員の定数は30人です。議員定数については、減らしてほしいという意見がある一方で、減らしてほしくないという意見もあり、慎重に議論を重ねる必要があります。 現在、市議会では議会改革の検討を行っており、議員定数については検討項目にあげられております。また、議員定数についての陳情も出されており、議会運営委員会で審査中ですので、その議論の行方を見守っていきたいと思っています。
	3	議員の数が人口の割に多い。	
	4	市議会議員の人数が多いと思う。	
健全な財政運営	1	市の税財政の展望をお聞かせください。	景気回復は見込まれますが、三位一体改革により平成19年度から個人住民税が減額となるなど市税の大幅な伸びは期待できません。歳出では、今後武蔵野プレイス(仮称)建設事業や鉄道連続立体交差事業の支出があり、さらに更新時期を迎える市有施設の改築なども計画していかなくてはなりません。今後の財政計画は調整計画にあわせて策定しますが、財政運営は厳しく推移していくと考えています。
	2	税金の使いみちを見直して欲しいと思います。 やはり、武蔵野プレイスはシンプルに本当に目的が何なのかを考えて、使いやすければ華美にする必要はないと思います。建設コスト・ランニングコストといずれも高すぎます。(今までの計画では)	毎年、長期計画にそって、福祉、教育やまちづくりなどの事業の予算を定め、有効に活用させていただきます。 武蔵野プレイス(仮称)の建設については、施設規模の縮減などを盛り込んだ市長の修正案に対し、市議会での意見や、「基本設計の趣旨に沿った建設を」といった陳情が市議会で採択されたことから、「基本設計立ち戻って」課題を整理するために、本年度に専門家会議を設置し、実施設計に向けた検討を行っています。 建設等の費用については、効率的、効果的な運営を目指していきます。
	3	税金が多い。介護保険。	現行制度では、保険給付費の19%を65歳以上の方(第1号被保険者)が負担しているため、保険給付費の増加により保険料が上がります。市では、現在、高齢者の方が、要介護の状態になることを防いだり、状態の悪化を防いだりすることに重点を置く介護予防の事業に取り組んでいます。
	4	増税した税金の用途について国の方針で市民税も国保税も大幅にアップしました。増加分の用途について資料を市民にわかるように明確にして欲しい。	毎年予算で定められた事業の財源に税を充てるわけですが、今回の増額分も予算に計上され、長期計画にそって、福祉、教育やまちづくりなどの事業の財源として有効に活用させていただきます。 国民健康保険税は、加入者の医療費に充てられるものですが、現在、国民健康保険税と国、都、市からの規定に従った負担だけでは、全体の医療費をまかなえず、赤字部分は一般会計から補てんしています。国民健康保険税の増額部分は、この一般会計からの補てん部分の減額に充てられています。 市民税と国民健康保険税の増額分は、このように市の予算の中で見積もられ、特別な用途に充てられているのではなく、各事業に充てられているとご理解くださるようお願いいたします。

分類	番号	意見等	市の回答・対応方針
その他	1	住んでよかったといわれる武蔵野市にしてください。	自分たちが住んでいるまちを、心から愛せるような施策を行ってまいります。それには、行政だけではなく、市民の皆さんひとりひとりのご協力も併せてお願いいたします。
	2	当初予算が否決されるという事態を市長は、どう受け止めますか。	今年3月に当初予算が否決されたことは、武蔵野市では初めてであり、重大な事態と真摯に受け止めました。今後は、予算編成に際しまして、議会にも十分にご理解いただけるよう努力して取り組んでまいります。
	3	交際費をそんなに遠慮しないでもいいのではないですか。	交際費については過度なものにならないよう、基準を定めて支出していますのでご理解ください。

市民と市長のタウンミーティング

第6回

主役は市民です

タウンミーティングは、市民の皆様と市長が車座になって、地域の課題や市政について意見を交換する会です。

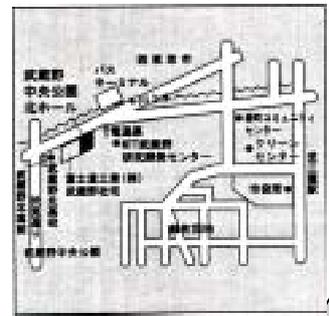
お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

期日 平成18年8月6日(日)

時間 午後1時30分から4時

会場 武蔵野中央公園
北ホール

武蔵野市八幡町2-5-3



内容 会の前半は、「八幡町のまちづくり」をテーマに、後半は市政全般について話し合います。

出席者 市民の皆様(どなたでも)、邑上守正市長
八幡町コミュニティ協議会、市関連部長

申込 当日、直接会場へお越しください。

主催 武蔵野市・八幡町コミュニティ協議会(共催)

*お車でのご来場はご遠慮ください。

*タウンミーティングは議会開催月(3, 6, 9, 12月)を除く毎月、年8回、市内各コミュニティセンターで開催する予定です。

問い合わせ◎武蔵野市企画政策室市民活動センター
Tel.0422-60-1829 Fax.0422-51-2000

～市長と共にまちづくりの夢を語り合いましょう～

公共施設を巡る
ムーバス路線の増設を

都立中央公園の北側に
通り抜けができる出入り口を



遊歩道の整備、
町の案内板の改善を

だれにでも
やさしい安全なまちを

新しいコミセン建設の早期実現



当日参加できない方で、ご意見のある方は、7月30日（日）までにコミセンまでお寄せください。
ファックスでもメールでも、口頭でも結構です。

電話&FAX **0422-54-0169**
Email yahata-c@parkcity.ne.jp

八幡町コミュニティ協議会
八幡町4-10-7

第6回

市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成18年10月

武蔵野市企画政策室市民活動センター

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)